

は づ た ヒ

消化器内科

◆特集／医療アクション！

「胃カメラ・大腸カメラだけじゃない、
こんな内視鏡ご存知ですか？」

2015 秋

消化器内科



内視鏡部長 中島 滋人

「胃カメラ・大腸カメラだけじゃない、
こんな内視鏡ご存知ですか？」

はじめに

内視鏡は消化管の中に入り臓器の内側を目で見る事ができる医療機器です。食道・胃・十二指腸を主に観察する胃カメラ、大腸を観察する大腸カメラが一般的には良く知られていますが、特殊な内視鏡を使用することで小腸を含めた口から肛門まですべての腸管を観察することが可能となりました。加えて現在は「診断する」だけでなく、病気の治療にも貢献できるようになりました。そのすべてを説明することはできませんが、当院で行っている手技の一部をご紹介します。ただきます。

特集 医療アクション

2~4P

消化器内科

～胃カメラ・大腸カメラだけじゃない、こんな内視鏡ご存知ですか？～

院内外のホットニュース 5・6P

◆教えてコーナー

健康にまつわる選りすぐりの知恵。 7・8P

◆ホッ得! 今回のお題【医療安全について】

◆私が伝えたい!!はづの魅力 9・10P

◆情報to(通) ●ご意見に答えるコーナー 11P

◆部署紹介〈訪問看護ステーション〉 12P

◆病診連携登録医〈水谷医院〉
〈羽津内科クリニック〉 13・14P

◆職員が紹介する「お・す・そ・わ・けスポット」 15P

管理栄養士が考える旬の健康食 16P

◆おすすめ!!「季節を食す」

◆外来診療担当表 17・18P

内視鏡的粘膜下層はく離術 (ESD)

早期がんに対して行われている内視鏡治療は、開腹手術に比べて入院日数が短期間で済み、また患者さんへの負担も軽くできるため、従来の外科治療に代わる新しい治療法として注目されています。専用の処置具を使ってより大きな病変を切り取る方法も行われるようになってきています。

内視鏡的逆行性胆管膵管造影

(ERCP)

内視鏡的乳頭切開術 (EST)

・内視鏡的結石除去術

内視鏡を使って胆管・膵管を造影する検査をERCP（内視鏡的逆行性胆管膵管造影）といいます。口から十二指腸まで内視鏡（胃カメラ）を入れ、その先端から膵管・胆管の中にカテーテル（細い管）を挿入します。カテーテルから造影剤を入れて、膵管や胆管のX線写真をとります。また、同時に

膵液や胆汁を採取したり、病変部から組織や細胞を取って検査を行うこともあります。ESTとは十二指腸乳頭（総胆管の十二指腸への出口）を広くする目的で乳頭部を内視鏡を通して挿入した電気メスで切開する処置です。ERCPに引き続いて行われ、総胆管結石・膵石の治療やステントの挿入時に必要となります。総胆管結石があった場合は、拡張した乳頭から総胆管内にバスケット状のワイヤーを入れて結石を十二指腸に引き出します。結石が大きい場合は特殊なバスケットカテーテルを胆管内に挿入して石を小さく砕くこともあります。膵石に対しても同様の処置を行っています。

超音波内視鏡下吸引細胞診

(EUS-FNAB)

膵臓の腫瘍や胃粘膜下腫瘍などを細胞で診断する検査です。口から内視鏡を胃・十二指腸まで進め、内視鏡の先



内視鏡スタッフ

についた超音波（エコー）で胃壁の外の膵臓をみながら針を膵臓に刺して膵臓腫瘍の細胞を採取します。細胞診で良性か悪性かを診断することで、治療方針を決定することができます。

食道静脈瘤硬化療法 (EIS)

内視鏡的静脈瘤結紮術 (EVL)

食道静脈瘤に対し、内視鏡で静脈瘤を確認しながら、注射針と呼ばれる処置具を用いて硬化剤を注入して静脈瘤を固め、詰まらせない方法と食道静脈瘤を内視鏡で

縛って取り去る方法です。EISに比べると、患者さんにとっても侵襲（しんしゅう）が少なく、簡便で安全性に優れています。最近ではEISとEVLのメリットを生かしながら両方を併用する事もあります。

以上あまり一般的ではない内視鏡手技について簡単にご紹介させていただきました。思い当たるものがありましたら遠慮なくご相談いただければと思います。

胃カメラを 楽に受けるポイント

患者さんに合った前処置

ゼリーの麻酔、スプレীর濃い麻酔、緊張をほぐす鎮静剤の注射などを準備しております。患者さんの反射の強さや緊張具合など考慮し、個人にあった前処置を相談させて頂きます。尚、車（自転車も）で来院の方には鎮静剤の注射をする事ができません。予めご了承ください。

胃カメラ・ツバは飲み込まない

胃カメラは、のどから食道・胃・十二指腸まで挿入し、次に写真を撮りながら観察していきます。カメラをゴクンゴクンと飲み込んでしまうと、力が入りむせたりします。のどの麻酔による違和感はそっとしておく事が重要です。ツバが自然に垂れるくらい、頬から奥歯のあたりの力を抜きます。

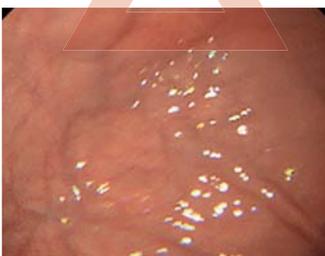
ゆっくり口呼吸

エツとえついてもゲップが出て問題ありませんので、まずは呼吸を整えます。口からゆっくりため息をつきながら全身の力が抜いていきます。呼吸が早くなって力が入らないように、看護師が誘導します。

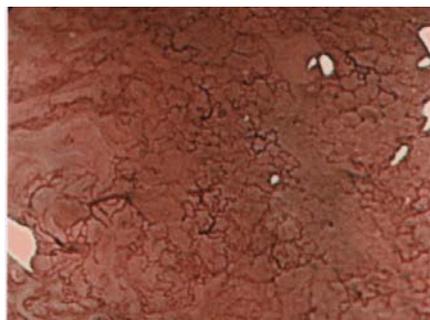


医師は優しくカメラを挿入し、的確かつ迅速に観察していきます。担当看護師が最初から最後までやさしく寄り添って、説明しながら検査を誘導します。それが腕の見せ所です！

ご不明な点は内視鏡担当看護師にご相談ください。

| | 経口内視鏡 (GIF-H290Z) | 経鼻内視鏡 (GIF-XP260N) |
|-----|--|--|
| 良い点 | 画質が良いので詳しい検査が可能（ハイビジョン対応高画質+拡大機能）検査時間が5分ぐらいで済むことが多い  | のどの挿入が経口に比べて楽な事が多い 太さが5mmほどで細い  |
| 悪い点 | のどの挿入が辛い事がある 太さが約1cmある  | 細い為、画質が悪い（低画質） 検査時間が長い事が多い（7~8分）高度な処置はできない  |

胃がんの内視鏡拡大画像▼



経鼻内視鏡
当院では鼻から挿入する胃カメラ（経鼻内視鏡）も導入しています。上表を参考に、ご希望の方は予約時にご相談ください。

経口内視鏡の拡大機能
経口内視鏡には拡大機能がついています。怪しい病変を拡大機能でみることで、良性悪性がおおよそわかります。

ホッ!得

今回のお題
昨今良く耳にする

「医療安全について」



今回は最近良く耳にする、「医療安全」をテーマにお話します。

「安心、安全」というフレーズはいろんな場面で見聞きされるかと思えます。

「安全」は、医療に限らず、あらゆる分野において重要なキーワードです。自動車を選ぶ時、食品を買う時、見た目も気になります。近ごろではより「安全性」を意識して購入されているのではないのでしょうか？
医療安全への関心が高まった

のは、テレビ、新聞で世間を賑わせた、1999年に大学病院で起きた患者取り違え事故のニュースをご記憶の方もあると思います。これをきっかけとして医療界では国の主導の下、この15年の間に急速に医療安全対策が推し進められてきました。

しかし残念なことに、医療事故は0にはなりません。それはどうしてでしょうか？
医療ミスを根絶できない要因には大きく2つあげられます。ひとつは「人は誰でも間違える」という、人間の本質的欠陥です。これは、みなさんもよく耳にするヒューマンエラーです。

具体例

インシデント=ヒヤリ・ハット

業務中に一つ間違えたら事故になりそうな「ヒヤリ」としたり「ハットした経験」

アクシデント=医療事故

医療施設（病院など）で発生する人身事故
医療行為と直接関係ないもの（転倒など）、患者さんだけでなく、職員の被害も含む。

ヒューマンエラーは、

- どこでも起こりえる
 - 全業種、全場面
- 被害が大きい
 - “大事故はまれ”という経験則が通用せず
- 防ぎにくい減らない
 - 人間のエラー発生確率はゼロにはならない等の特徴があり深刻化します



安全・安心

もうひとつは、医療現場特有の「環境」に要因があります。患者さんの治療に際して、病院では色々な専門職スタッフが関わります。また、高度な技術が求められ、多くの医療機器も用います。そのため人と物が複雑化した状況はミスを誘引する環境となります。

環境

では、どのように予防したらよいのでしょうか。言うまでもなく、ヒューマンエラーは、全業種、全場面、起こり得るそれは命を御預かる

りする医療界でも起こり得るので

そこで、防止対策が重要になります。当院でも防止対策の基本となる「ハインリッヒの法則・環境システム」の整備等に基づいた、ヒヤリ・ハット報告制度を取り入れた防止対策に努めています。

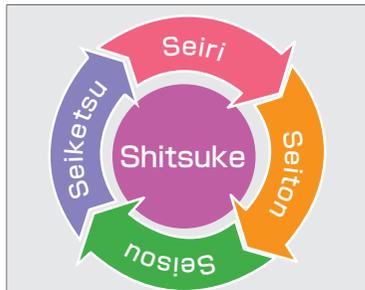
これはアクシデントが起きてしまった時に、同じことを繰り返さないために振り返りを大切にすること、院内の事象はもとより当院が属するJCHOGグループ57施設での情報について共有すること、他施設での出来事を自己点検する

ハインリッヒの法則



防止対策が重要!!

環境システムの整備



- 整理 Seiri
必要な物を保管、不要な物を破棄
- 整頓 Seiton
標準化を図る
- 清掃 Seisou
汚れていることのない状態
- 清潔 Seiketsu
点検、保持に努める
- 躰 Shitsuke
ルールきまりを守る

安全な採血
点滴のために

ご協力ください

- 腕に麻痺がある場合
- シャント・熱傷(やけど)や外傷(きず)などがある場合
- 乳がんの手術後の場合

看護師に声かけをお願いします。

私が伝えたい はづの魅力

I love yokkaichi.



好きな言葉 「二生懸命」

臨床検査技師長 内野 美知代

ここには人との関わりを大切にしてく風土が根付いており、それが私を初め羽津職員を育てているのかもしれない。長きに渡りお世話になり、ありがとうございます。

九州出身の私が臨床検査技師として就職したころは、この地に馴染めず憂鬱な毎日を過ごしていました。気が付けば楽しい思い出とともに最後の年を迎えるまでになりました。当初、戸惑いが多かったのに、なぜ継続できたのか改めて考えてみると、様々な方々との交流があり、その中で支えられ、時には叱られ、そして導いて頂いたからだと思っております。この間「羽津病院」から「四日市社会保険病院」そして「JCHO四日市羽津医療センター」と名称が変わるように、病院の規模も取り巻く街並みも変わっていききました。でも、変わらないのは「ほんのりとした温かい気持ち」です。待合室を歩いていると「お久しぶりです」と声をかけられ、出勤時や帰宅時のすれ違う方には会釈されたりと、患者様や地域住民の方々との繋がりを感じます。

私が所属する人工腎センターは、現在透析用装置30台を有し、午前・夜間を基本とした2クルルの血液透析を行っています。血液透析患者さん約90名に対し腎臓内科医師・看護師・臨床工学技士が協力しながら診療にあたっています。総合病院の利点を生かし、全身管理に力を入れ、また4月に地域包括ケア病棟が開設されましたので、患者さん個々にあった利用が出来るようになりました。私たち看護師は透析患者さんの声に耳を傾け、支えていけるよう努力していきたいと思っています。

人工腎センター 副看護師長 降井 洋平



好きな言葉 「チーム力」

私は外科病棟で勤務していますが、この病棟には手術による形も大きさも様々な傷のある方や、重症の場合には入院が長くなる方々もいらっしゃいます。みなさんは「皮膚排泄ケア認定看護師」という資格をご存知でしょうか？この資格は日常の業務の中でも特に、褥瘡（床ずれ）、創傷、人工肛門（ストーマ）、失禁などを専門として看護にあたります。このような仕事をする看護師はこれまで2名で活動していましたが、私も今年度よりこの仲間入りをして、先輩方と共に、皆様にとってより良い療養のお世話が出来よう努力していきたいと思っています。

4病棟 皮膚排泄ケア 認定看護師 櫻井 亜沙子



好きな言葉 「邁進」

私は12名の仲間と構成するメディカルアシスタント（医師事務作業補助者）として勤務しています。主に外来での診察補助業務、医療文書作成補助、お伺いした患者さんの声を主治医や看護師に届けるなどの事務的サポートを通じて先生方をはじめ他の医療スタッフの負担軽減に努めています。患者さんから「また、あなたに会えて良かった」と嬉しい声を掛けて頂ける時もあり、そんな時は幸せな気持ちでいっぱいになります。愛着のある当院で勤務できる事に日々感謝し、おひとりお一人の患者さんと出逢える今を大切にしたいと思います。

医事課 メディカルアシスタント 奥藤 歌子



好きな言葉 「今を大切にする」

薬剤師になって2年目で、まだまだ自己研鑽に励む毎日です。現在はお薬の調剤以外に、3階病棟の主に整形外科で入院される患者さんの治療に携わっています。年齢を重ねるごとに薬の種類が増えていく傾向にある中で、「副作用は発現していないか」「お薬はきちんと効いているか」など、患者さんへ不利益な事象が起こっていないか、モニタリングすることは薬剤師のとても重要な役割だと考えています。病態による影響なのか、お薬による影響なのか、常に考えながら真摯に患者さんの声に耳を傾け、安心・安全な医療を提供できるように頑張ります。

薬剤科 薬剤師 藤戸 淳夫



好きな言葉 「七転八起」

「訪問看護ステーション」



訪問看護

ステーションより

お気軽に
ご相談ください!!

☎ 059-331-6044



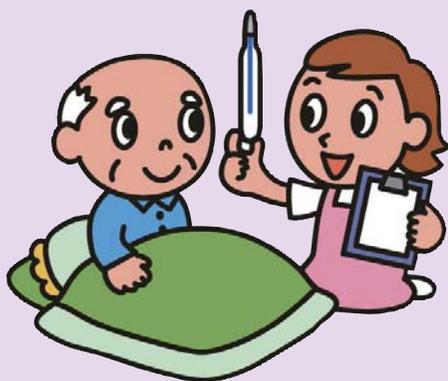
訪問看護ステーション

私たち訪問看護師は病気や障害をお持ちの方が自宅で安心して自分らしい生活ができるようお手伝いをさせていただいております。病気をお持ちの方が、できるだけ入院をしないよう、今できていることが今後も継続してできるようにと予防的な関わりにも力を入れてます。



8月より介護老人保健施設内に事務所を移

転し、在宅部門と更に連携が強化できるようになりました。在宅療養する上で困りごとがございましたらお気軽にご相談ください。



情報to



退

院の前夜、重症の患者さんを懸命に看護している看護師の姿がカーテン越しにシルエットで映っていて、心を打たれ涙が出てきました。深夜勤務は大変ですね。あなた達の未来に幸あれと祈りました。本当に10日間ありがとうございました。

【60代女性・入院患者】

3

階食堂前の携帯電話OKの場所で電話をかけていました。食事が終了した職員さん2人が大きな声で喋りながら通られました。患者さん、面会者がいたら静かに通ってください。

【通院患者】

当

院のスタッフさまにお世話になりました。スタッフは、皆さんテキパキと対処していただくので感謝しています。ありがとうございます。この病院は、お茶が自由ないただけるので助かりました。

【70代以上男性・入院患者】

病院より 回答

温かいお言葉ありがとうございます。患者さんからのこのようなお言葉により現場職員のモチベーションが更に上がります。今後も患者さんに「安心」「安全」の医療サービスを行う様に努力していきます。

ご意見ありがとうございました。

この度はスタッフの配慮の無い行動で患者さんにご迷惑を掛けて申し訳ございませんでした。今後、スタッフの接遇面について意識の改善に努め、ご来院していただく患者さん、ご家族に配慮が出来る様、指導してまいります。



病診連携登録医

地域の病院・クリニックをご紹介します

羽津内科クリニック

ひとり一人の方と相談し、その方に最も適した治療を行う
そのような地域のかかりつけ医でありたい



院長
中藪 雅弘



副院長
中藪 啓子

四日市羽津医療センターの北西数百メートルの地に、先代が開業した土橋医院を継承し、羽津内科クリニックとして夫婦で開業しています。

総合内科専門医として、高血圧、糖尿病、脂質代謝異常などの生活習慣病をはじめ、胃腸疾患、心臓病、喘息、アレルギー疾患など、多岐にわたり診させて頂いています。

レントゲン、心電図、内視鏡、超音波などの検査は、すぐに結果を説明、精密検査や入院治療が必要な場合は、地域の基幹病院に速やかに紹介させていただいております。MRIやCTの正確な読影を含め、四日市羽津医療センターには

診療科目

内科

胃腸内科

循環器内科

呼吸器内科

アレルギー科

平素より大変お世話になっており、病診連携の大切さを感じています。

日本人の平均寿命は男性81歳、女性86歳と世界でも稀にみる長寿国となっております。最近健康寿命が注目され、約10年ある平均寿命と健康寿命の差を縮めることが、生活習慣病をはじめとする疾患の治療目的ではないかと考えております。

30代、40代の方と、70代、80代の方では、同じ疾患でも治療内容が異なることは当然ありうる事で、ひとり一人の方と相談し、その方に最も適した治療を行う、そのような地域のかかりつけ医でありたいと思っています。



| 診療時間・曜日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|----------------|---|---|---|---|---|---|---|
| AM9:00~AM12:30 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | △ |
| PM3:30~PM6:30 | ● | ● | ● | △ | ● | △ | △ |

休診日/木曜午後、土曜午後、日曜、祝日

TEL 059-331-2626

〒510-0004

三重県四日市市大宮西町10-6



病診連携登録医

地域の病院・クリニックをご紹介します

水谷医院

在宅医療、変わるもの 変わらないもの



院長 水谷 直巳

戦後昭和20年に父が開院し、その父が他界して32年たった今も、患者さんから「先代はいつでも、どんなことでも診てくださった」と言われ、私は真夜中の窓にあたる小石で起こされる父の姿を思い出します。自家用車や救急車がなかった時代にリヤカーで患者を迎えに行くことも夜間や在宅診療も必然でした。

32年前に継承した私にとり、有床応急診療所から在宅訪問へは自然な流れです。医師会訪問看護センターと共に20年前に行った訪問診療した患者は年20軒、現在も20軒前後の訪問診療が続いています。また、応急診療25年の経験から救急は本人・家族・医療従事者の負担が大きく、急変の予防・予知・教育こそが重要と痛感しています。

診療科目

内科

外科

消化器科

整形外科



包括的在宅医療や介護の時代となりました。当院も連携強化型在宅診療所のグループに参加し、四日市羽津医療センターなどの基幹病院や介護施設と連携し、院内では整形外科医、管理栄養士、臨床心理士と意見交換します。こうした多くの視点から患者さんを見ることで、診療の独善性を避け安全性を高めています。



| 診療時間・曜日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|---------|----------------|----|----|----|----|----|---|
| 内科 | AM9:00~AM12:00 | ● | ● | ● | ● | 検査 | ● |
| 外科 | PM3:00~PM6:00 | 予約 | 予約 | 予約 | 予約 | △ | △ |
| 整形外科 | AM9:00~AM12:00 | △ | ● | △ | ● | 手術 | ● |

休診日/火・木・土曜午後、日曜、祝日

栄養指導/9:00~15:00(月・金)

臨床心理面接(予約制)

TEL 059-337-1131

〒512-8048

三重県四日市市山城町1107-2

お・す・そ・わ・け・ス・ポ・ット

海蔵川沿いにある中華料理「ほうらい」。創業30年、地元の人に愛され続けたお店を、2代目店長が先代から受け継がれ、平成25年5月にリニューアルオープンされました。「ご家族みんなで楽しんで頂く空間づくり」をモットーとされている店内は、広々として開放的な空間にテーブル席と奥には30名収納可能なお座敷が完備されているので、ゆったりとお食事がいただけます。和食・洋食・フレンチで修業をされた店長さんのお料理二品一品には、お客さんへの思いやりがたっぷり詰まっております、おもしろさもボリュームも満点です。ランチ、セットメニュー、宴会プランもあり、お客さんの予算や要望も聞いてくれます。そして、なんと毎週土曜日は生ビールが半額サービス！是非ご家族で気兼ねなくワイワイ楽しんでください。満腹満足間違いなし！

o.s.u.s.o.w.a.k.e Spot 中華料理 「ほうらい」



ねぎラーメン
店長のお母様が
考案された一品。
ピリツとした辛みが
クセになる
おいしー!



肉団子
外はカリッと
中はふんわり。
歯ごたえ抜群で
しっかり肉を
食べてる感じ！
常連さんに大人気

ランチ
ボリューム満点の
チャーハンに小ラーメン、
唐揚げ、サラダ
がついて
お得な880円!



右から
☆マスター
☆マスターのお母様
☆店員さん



「ほうらい」
●所在地 三重県四日市市三ツ谷東町10-31
●TEL 059-331-4577
●営業時間 昼11:30~14:00
夜17:30~21:00
●定休日 日曜日
●アクセス 阿高川駅から徒歩900m



おすすめ!!

「季節を食す」

管理栄養士が考える旬の健康食



516kcal

※表示カロリーは1人分

黒豆ちらし寿司

（ 黒豆ちらし寿司 レシピ ）

★ポイント★

この1品だけで、炭水化物もたんぱく質も脂質もバランスよく摂取できるようにしました。塩分は1.7gと1食分としては少なめになっていますので、これ以外にもう1品とることができず（減塩食の目安は1食あたり塩分2g）。和え物やサラダなどの野菜料理を追加して、さらにバランスよく食べるのがおすすめです。



- ＜作り方＞
- ①黒豆ご飯にすし酢を回しかけ、手早く切り混ぜる（＝黒豆酢めし）。
 - ②焼き鮭は身をほぐし、スライスチーズは好きな型で抜く。
 - ③耐熱容器にAを入れて混ぜ、電子レンジ（600W）で2分加熱する。取り出して泡立て器で混ぜ、再度電子レンジ（600W）で1分加熱し、泡立て器で混ぜて細かくする。
 - ④きゅうりは薄くスライスし、塩もみをして水気をきる。
 - ⑤器に黒豆酢めしを盛り付け、具を盛り付ける。最後にブロッコリースプラウトを飾る。

- ＜材料＞1人分
- 黒豆ご飯 150g
 - すし酢 適量
 - 卵 1/2個
 - 牛乳 大さじ2
 - マヨネーズ 小さじ2
 - みりん 小さじ1
 - 焼鮭 1/2切れ
 - きゅうり 1/4本
 - スライスチーズ 1/2枚
 - ブロッコリースプラウト 適量



栄養管理室 管理栄養士 川瀬 千絵

●外来診療担当表

※担当医表は変更する場合がありますので詳しくはホームページをご覧ください

2015年10月1日現在

| 診療科 | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-------------------|----|---------------------------|---------------------------|-------------------------|-------------------------|--------------------------|
| 内科 | 初診 | 井本 一郎 消化器科・一般 | 杉本 龍亮 消化器科・一般 | 岩佐 元雄 消化器科・一般 | 渡辺 省三 消化器科・一般 | 吉川 恭子 消化器科・一般 |
| | 再診 | 奥山 圭介 | 筒山 はるな | 三好 美穂 | 小寺 仁 | 井上 知紗・ 三宅 真人 |
| 総合診療科 | | | | 田口 智博 初診・再診予約 | | |
| 消化器内科 | 初診 | ★中島 滋人 | ★樋口 国博 | ★中尾 一之 | 大原 和人 | 孫 永基 |
| | 再診 | ★樋口 国博 再診予約 | ★中尾 一之 AM 再診予約 | 副院長 木村 光政 AM 再診予約 | ★中島 滋人 AM 再診予約 | 渡辺 省三 AM 再診予約 |
| | | 大原 和人 AM 再診予約 | 孫 永基 AM 再診予約 | | ★樋口 国博 AM 再診予約 | |
| | | | 渡辺 省三 PM 再診予約 | | | |
| | | 竹井 謙之 予約 | | | | |
| 循環器科 | 初診 | ★川村 正樹 | ★山中 崇 | ★角田 健太郎 | ★川村 正樹 | ★山中 崇 |
| | 再診 | ★川村 正樹 杉浦 武 PM 再診予約 | ★山中 崇 | ★川村 正樹 ペースメーカー 外来 | ★川村 正樹 | ★角田 健太郎 ペースメーカー 外来 |
| リウマチ膠原病内科 (予約) | | ★佐藤 良子 初診予約 | 小寺 仁 再診予約 | ★佐藤 良子 再診予約 | ★佐藤 良子 再診予約 | ★佐藤 良子 再診予約 |
| 呼吸器科 | 初診 | | 小林 哲 10:30まで 診察受付 | | | 吉田 正道 11:00まで 診察受付 |
| | 再診 | 油田 尚総 PM再診 | | | 藤原 研太郎 PM SAS | 中原 博紀 PM再診 |
| 腎・透析科 | | 三宅 真人 初診 | ★水谷 安秀 食事指導外来 (月1回) | ★水谷 安秀 再診予約 | ★水谷 安秀 第1・第3 再診予約 | 三宅 真人 再診予約 |
| 糖尿病センター (予約) | | | 院長 住田 安弘 AM 糖尿病 | 安間 太郎 AM 糖尿病 | 三好 美穂 AM 糖尿病 | 奥山 圭介 糖尿病 |
| | | | 三好 美穂 糖尿病 | 島地 泰敏 甲状腺 | 島地 泰敏 甲状腺 | 筒山 はるな 糖尿病 |
| | | | CGM外来 13:00~14:00 | 奥山 圭介 糖尿病 | | |
| 神経内科 | | 橘 径 PM 予約 | | 田村 麻子 AM 予約 | | |

| 診療科 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|--|-------------------------------|--------------------------|----------------------------|---|----------------------------|
| 外科 大腸肛門病 (IBD) センター | 副院長 梅枝 寛 14:00~予約 | 名誉院長 松本 好市 予約 | ★野地 みどり | 副院長 梅枝 寛 予約 | ★野地 みどり |
| | ★北川 達士 AM 初診 14:00~乳腺予約 | ★北川 達士 | 鈴木 桜子 | ★北川 達士 | ★山本 隆行 予約 |
| | ★野地 みどり 再診予約 | 馬場 卓也 | ★中山 茂樹 | ★山本 隆行 午後予約 | ★湯澤 浩之 |
| | ★山本 隆行 予約 | ◆肥満 智紀 | | 鳥井 孝宏 | 馬場 卓也 |
| | ★中山 茂樹 | 副院長 梅枝 寛 予約 | | ◆肥満 智紀 | |
| | ★湯澤 浩之 ◆肥満 智紀 | | | ★野地 みどり PM検査 | |
| 呼吸器外科 | | | 王 志明 第3週のみ | 相馬 信吾 | |
| ペインクリニック | | | 坂倉 幸子 9:30~ 予約 | | 小西 邦彦 17:00~ 予約 |
| 緩和ケア外来 | | | ★石井 雅昭 予約 | | ★石井 雅昭 予約 |
| 小児科 | ★町田 祐子 | ★町田 祐子 | 副院長 渥美 伸一郎 | 副院長 渥美 伸一郎 | ★町田 祐子 |
| | 乳幼児健診 (渥美) 14:00~予約 | 予防接種 (渥美) 14:00~予約 | 慢性疾患外来 (町田) 15:30~予約 | 慢性疾患外来 15:30~ 予約 | 慢性疾患外来 (町田) 15:30~予約 |
| 整形外科 ※月曜日の整形外科受 診には必ず紹介状が 必要です。 | ★森下 浩一郎 予約 | ★小川 明人 | ★小川 明人 | 担 当 医 | ★森下 浩一郎 予約 |
| | ◆後藤 幹伸 | ◆後藤 幹伸 | ★森下 浩一郎 予約 | ※木曜日は OPEの 都合で 外来診察医師 が変わります。 | ◆後藤 幹伸 |
| 産婦人科 | ★中 淳 | 樋口 恭仁子 | ★中 淳 | 樋口 恭仁子 | 米村 幸男 |
| 泌尿器科 | ★加藤 貴裕 | 吉川 昌希 | ★加藤 貴裕 | 吉川 昌希 | ★加藤 貴裕 |
| 眼科 | ★中野 めぐみ | ★中野 めぐみ ~11:00 | ★中野 めぐみ | ★中野 めぐみ | ★中野 めぐみ |
| | | | 応援医師 | | |
| 耳鼻科 | | 間島 雄一 ~11:00 | | | |
| 皮膚科 | | 水谷 仁 ~11:00 | | 尾本 陽一 ~11:00 | |
| 女性外来 | | | | | ★野地 みどり 外科 |

は初診です ★=部長 ◆=医長

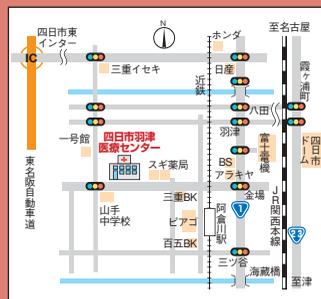
病院と地域を結ぶ

はづナビ

VOL.27

平成27年10月発行

発行：四日市羽津医療センター
編集：四日市羽津医療センター広報委員会
〒510-0016 三重県四日市市羽津山町10番8号
TEL 059-331-2000
URL <http://www.yokkaichi.jcho.go.jp>
編集協力：TCK Nagoya



公共交通機関のご案内

- 近鉄阿倉川駅より西へ徒歩約8分
- 近鉄四日市駅よりタクシーで約10分
- 三重交通バス羽津山経由Jヘルズ行(病院前下車)
- 生活バス(四日市羽津医療センター下車)
- 東名阪、四日市東インターから約10分

四日市羽津医療センター

検索

掲示板

新任医師 をご紹介します



麻酔科

NEWS

西中文
(ニシナカ アヤ)

6月から勤務して
います!

泌尿器科

NEWS

吉川 昌希
(ヨシカワ マサキ)

10月着任!



訪問看護ステーションが
老人保健施設1Fに移転しました。



編集後記

猛暑続きの夏もいつの間にか秋の長雨。季節の移り変わりが早く感じられる昨今です。私たちの暮らす三重県では、2016年5月の伊勢志摩サミット開催が決まり、日本国内だけでなく海外からの注目も集まっています。気候も良く活動しやすい観光シーズンの今、秋の空気を感じながら出かけてみませんか。昔から灯台下暗しとはよく言いますが、地元三重の意外な一面を発見する良い機会になるかもしれませんね。